

- ① 新刊書の事前情報です。配本希望部数をご記入のうえ郵送またはFAXにてご連絡をお願い致します。
希望部数を優先して配本しておりますので、必ずお申し込み下さい。
- ② 委託期間内返品可 配本後到着の注文書は注文扱いにて出荷させていただきますのでご了承下さい。
- ③ ★印の図書は特にご注目下さい。平積み頂ければ幸いです。
- ④ 小局ホームページより、「新刊のご案内」最新号がダウンロードできます。併せてご利用下さい。

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2016年11月下旬配本 定価2916円(本体2700円+税) A5判上製・254頁 五十嵐 敬喜 編著 現代総有論 《法政大学現代法研究所叢書 42》 ISBN978-4-588-63042-2 C1332
		2040年までに日本の人口は約9千万人に減り、ほぼ半数の自治体に消滅の可能性がある。この急激な変化に日本社会は根源的な転換を迫られている。明治以来の土地所有権の絶対視とそれがもたらす現代の都市空間の歪みを明らかにし、地域と人々のつながりに基づく所有権の新しいあり方「現代総有」によって、日本社会の大転換に対応する理論とそのプロセスを包括的に提示する。 【都市政策】 ☆関連書:五十嵐敬喜編『現代総有論序説』(ブックエンド)、五十嵐ほか編『ポスト公共事業社会の形成』(小局刊)。

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2016年12月中旬配本 定価8424円(本体7800円+税) A5判上製・584頁 リンダ・コリー 著／中村 裕子・土平 紀子 訳 虜囚 一六〇〇～一八五〇年のイギリス、帝国、そして世界 ISBN978-4-588-37125-7 C3022
		★ 北アフリカ、アメリカ、インドへと歩を進め、かつてない大帝國を築き上げたイギリス。しかし、世界規模で繰り広げられる侵略戦争のなかで、多くの人びとが敵國に捕らえられ捕虜となっていた。文化、宗教、権力、あらゆる価値が転倒する異國の地で、支配される側へと転落した無名のクルーソーあるいはガリヴァーたちの目に母國イギリスは、そして世界はどのように映ったのか。新たな視点で語られる大英帝國史。 【イギリス史】 ☆関連書:コリー『イギリス國民の誕生』(名古屋大学出版会)、デフォー『イギリス通商案』(小局刊)。

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2016年12月14日配本 定価9720円(本体9000円+税) 四六判上製・588頁 エリー・アレヴィ 著／永井 義雄 訳 哲学的急進主義の成立 III 哲学的急進主義 ISBN978-4-588-01039-2 C1310
		1820年頃の最大幸福主義を論じる最終巻では、リカードの経済理論やベンサムの司法・國家組織論が分析されるとともに、有益性の理論がイングランドの普遍的な哲学となり、言論・議會活動を通じた急進的改革の推進力となる時代が扱われる。現代的視点からみたPh.モンジャンの解説、アレヴィ小伝、著作目録や手紙などの資料に加え、訳者による総括的なあとがきを収録。全巻いよいよ完結! 【社会思想史】 ☆第I巻『ベンサムの青年期』、第II巻『最大幸福主義理論の進展』好評既刊! 「功利主義」観を一新させる名著。

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2016年12月21日配本 定価6264円(本体5800円+税) A5判上製・350頁 イサーク・イリイチ・ルービン 著／竹永 進 編訳 マルクス貨幣論概説 ISBN978-4-588-64005-6 C3033
		★ 1930年代のスターリン体制下で粛清され、戦後の西側世界でその理論的業績を高く評価されたソビエト・ロシアの経済学者ルービン。代表作『マルクス価値論概説』と対をなす本書は、草稿が2011年に初公刊された貴重な論文であり、さらにルービンの仕事の歴史的意義を詳説する編者ヴァーシナ氏および訳者による論考、ドイツ語訳版の解説等も併録する。20世紀経済学史への貢献。 【マルクス経済学・経済学史】 ☆関連書:ルービン『マルクス価値論概説』(法政大学出版局、1993年刊)好評既刊。

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2016年12月21日配本 定価5400円(本体5000円+税) A5判上製・328頁 渡辺 尚志 編 アーカイブズの現在・未来・可能性を考える 歴史研究と歴史教育の現場から ISBN978-4-588-32133-7 C1020
		一橋大学大学院社会学研究科の先端課題研究での「アーカイブズ」をめぐる共同研究の成果。信濃国真田家の文書の解説、市民団体・大学自治の資料にみる社会運動、戦時中の史料を使う歴史教育、戦跡という記憶、先住民の遺産の収集など、様々な分野で歴史資料に新たな角度から光を当てる資料研究とともに、文書の収集・整理・保存のあり方と、社会科学における記録資料の活用の可能性を研究と教育の現場から考える。 【歴史・社会】 ☆関連書:荒武賢一朗+太田光俊+木下光生編『日本史学のフロンティア』(1・2)(小局刊)など。

帖合・番線	部数	法政大学出版局 2017年1月上旬配本 定価3456円(本体3200円+税) 四六判上製・262頁 ソニア・O・ローズ 著／長谷川 貴彦・兼子 歩 訳 ジェンダー史とは何か ISBN978-4-588-35008-5 C0020
		★★ フェミニズム運動を淵源の一つとするジェンダー史は、単なる「女性の歴史」を超えて、既存の歴史学に新たな視点と刺激を提供し続けてきた。変容する「男らしさ」と権力の関係、奴隷制や近代国民國家の形成とジェンダーの関わりなど、対象領域を拡張し、今や言語論的転回以後の歴史学をも展望しうる分野に発展している。ジェンダー史の変遷を知るとともに、歴史学を捉え直す視点を獲得できる刺激的な入門書! 【歴史学・社会学】 ☆関連書:ピーター・バーク『文化史とは何か 増補改訂版』長谷川貴彦訳(小局刊)。

ご担当者様 氏名: [] 担当ジャンル: [] TEL: [] E-mail: []

* 配本部数等で事前にご連絡する場合がございます。上覧にご担当者様氏名・TELをご記入下さい。
* 宛名ラベルの内容に変更がございましたらお知らせ下さい。次回以降訂正致します。
* 今後、新刊内容のデータ等をeメールにて配信させて頂く場合がございます。よろしければメールアドレスをご記入下さい。